

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

「ルノワール+ルノワール展」開催記念
ジャン・ルノワール映画の世界

ジャン・ルノワール監督名作選

L'univers cinématographique de Jean Renoir
Rétrospective Jean Renoir

4月1日(水)〜4月23日(木)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、日本テレビ、
読売新聞東京本社後援：シネマテーク・フランセーズ、フランス外務省、
フランス大使館

4月の休館日：

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般1,100円/高校・大学生・シニア900円/小・中学生700円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

※本上映企画では、Bunkamura ザ・ミュージアムで開催中の「ルノワール+
ルノワール展」のチケットまたは半券のご提示により、上記の入場料から
100円を割引いたします(1枚につき1名様1回まで有効。他の割引券との
併用は出来ません)。

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

「ルノワール+ルノワール展」開催記念 ジャン・ルノワール映画の世界

ジャン・ルノワール監督名作選

L'univers cinématographique de Jean Renoir

Rétrospective Jean Renoir



2008

4

NFCカレンダー
2008年4月号

大ホール 上映作品

「ルノワール+ルノワール展」開催記念
ジャン・ルノワール映画の世界
ジャン・ルノワール監督名作選
L'univers cinématographique de Jean Renoir
Rétrospective Jean Renoir

フィルムセンターでは、映画史上最も偉大な映画監督の一人であるジャン・ルノワールの作品を精選して上映する「ジャン・ルノワール監督名作選」を開催いたします。これは、Bunkamura ザ・ミュージアムで開催中の展覧会「ルノワール+ルノワール展」(2月2日-5月6日)にあわせて開かれるもので、またフィルムセンターなど3つの上映施設がそれぞれの切り口でジャン・ルノワールの作品を回顧する関連企画《ジャン・ルノワール映画の世界》の最後を飾る上映イベントとなります。

映画生涯の前年に画家ピエール=オーギュスト・ルノワールの次男として生を受け、いまだ揺籃期にあった映画を20世紀の代表的な芸術にまで高めたジャン・ルノワール。本企画では、1924年のデビュー作『水の娘』や若きフランソワ・トリュフォーを魅了した無声喜劇『のらくら兵』、インドを舞台にした初のカラー作品『河』、ベル・エポックのパリの情緒を華やかに描いた代表作『フレンチ・カンカン』、イングリッド・バーグマン主演の艶やかな恋愛コメディ『恋多き女』など15作品(関連作品を含む)を13プログラムに構成して上映します。

皆様のご来場をお待ちしております。

- ㊦=原作・原案 ㊧=脚本・脚色 ㊨=撮影 ㊩=録音 ㊪=美術 ㊫=音楽 ㊬=出演
- 上映作品には全て日本語字幕が付いています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。
- プログラムの内容はやむを得ず変更になる場合があります。

- *1月発行の「ジャン・ルノワール映画の世界」チラシに一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。
- ・『大いなる幻影』の復元プリントは日本初公開ではなく、2001年に配給・公開されています。
- ・『ボヴァリー夫人』の上映プリントは復元版ではありません。

フィルム提供: ザジフィルムズ, Cinémathèque française, CNC Archives Françaises du Film, Théâtre du Temple

I 4/1(火)3:00pm 4/10(木)7:00pm 4/18(金)7:00pm

水の娘 (70分・35mm・無声・白黒)

LA FILLE DE L'EAU
水辺に暮らす娘(C・ヘスリング)は父も家も失って、森の中で倒れてしまうが、そこを一人の紳士に助けられる。妻のC・ヘスリングを有名にするために作ったルノワールの初監督作品だが、シュールレアリスムを彷彿とさせるシーンなどもあって、興味深い。
'24㊦㊨ピエール・レストランゲス㊩ジャン・バシュレ、アルフォン・ジボリ㊩ジャン・ルノワール㊩カトリーヌ・ヘスリング、ピエール・フィリップ、ピエール・ジャンパーニュ、モーリス・トゥーゼ、ジョルジュ・テロフ、マダム・フォッケンペルク

2 4/1(火)7:00pm 4/9(水)3:00pm 4/20(日)1:00pm

女優ナナ (148分・35mm・無声・白黒)

NANA
ゾラの自然主義の名作として知られる「女優ナナ」を原作に、次々に男を虜にしては身を破滅させる娼婦上がりの女性(C・ヘスリング)が描かれる。ほとんどがドイツで撮影されたこともあり、ドイツ表現主義的な雰囲気感が作品全体を覆っている。
'26㊦㊩エミール・ゾラ㊩ピエール・レストランゲス㊩エドモン・コーウィン、ジャン・バシュレ㊩ロベール=ジュール・ガルニエ㊩カトリーヌ・ヘスリング、ジャン・アンジェロ、ヴェルナー・クラウス、レイモン・ゲラン=カトラン、ジャクリヌ・フォルザース、ヴァレスカ・ゲルト、ピエール・フィリップ

3 4/2(水)3:00pm 4/10(木)3:00pm 4/15(火)7:00pm

チャーleston (25分・35mm・無声・白黒)

SUR UN AIR DE CHARLESTON
未来のパリが舞台。“文明の発達したアフリカ”から“未開のパリ”へやってきた黒人の探検家に、C・ヘスリング扮する踊り子がダンスを教えるという物語。ジョニー・ヒギンズの踊りが見所である。
'27㊦㊩アンドレ・セール㊩ピエール・レストランゲス㊩ジャン・バシュレ㊩カトリーヌ・ヘスリング、ジョニー・ヒギンズ、ピエール・ブロンベルジュ、ジャン・ルノワール

マッチ売りの少女 (29分・35mm・無声サウンド版・白黒)

LA PETITE MARCHANDE D'ALLUMETTES
雪の降る夜にマッチを擦って暖を取る少女=アンデルセンの有名な童話を幻想的に映画化した作品。批評家A・バザンをして「まばゆいばかりの魅力がある」と言わしめた。
'28㊦(共同監督)ジャン・テデスコ㊩ハンス=クリスチャン・アンデルセン㊩ジャン・ルノワール㊩ジャン・バシュレ㊩エリック・オース㊩カトリーヌ・ヘスリング、ジャン・ストルム、マニュエル・ラアビ、エイミー・ウェルズ

ジャン・ルノワールの演技指導 (23分・35mm・カラー・関連作品)

LA DIRECTION D'ACTEURS PAR JEAN RENOIR
ルーマー・ゴッデン(『河』の原作者)の小説の一節を使って、ルノワールが演技指導する様子を捉えた貴重なドキュメンタリー。監督は、友人であり製作者のピエール・ブロンベルジュの妻。
'68㊦㊩ジゼル・ブロンベルジュ㊩エドモン・リシャール㊩ルネ・フォルジュ㊩ジャン・ルノワール

4 4/2(水)7:00pm 4/19(土)4:00pm 4/22(火)3:00pm

のらくら兵 (130分・35mm・無声・白黒)

TIRE-AU-FLANC
ルノワール作品に初出演のM・シモンが、主人とともにいやいや兵役につく召使いを熱演。ルノワールは楽しさの中にほのかな切なさを交えようとしたこの作品の製作過程で、映画における自分の方向性に気が付き始めたといわれている。
'28㊦㊩ジャン・ルノワール、クロード・エイマン、アンドレ・セール、アルベルト・カヴァルカンティ㊩ジャン・バシュレ、P・アングスビュルグ㊩エリック・オース㊩ジョルジュ・ボミエ、ミシェル・シモン、フリデット・ファトン、フェリックス・ウダール、ジャンヌ・エルブラン、ジャン・ストルム、ポール・ヴェルサ

5 4/3(木)3:00pm 4/9(水)7:00pm 4/19(土)1:00pm

素晴しき放浪者 (84分・35mm・白黒)

BOUDU SAUVÉ DES EAUX
セーヌ河に飛び込んだ宿無し(M・シモン)が裕福な書店の主人(C・グランヴァル)に救われ、その家に居候するうちに、自由気ままな振る舞いで一家の平穏を壊してしまふ。道徳にとらわれない男が秩序ある家庭生活に巻き起こす数々の騒動を、ルノワール特有のユーモアで描き出した作品。
'32㊦㊩ルネ・フォショフ㊩ジャン・ルノワール㊩マルセル・リュジャン㊩ジャン・カスタンニエ、ユーグ・ローラン㊩ミシェル・シモン、シャルル・グランヴァル、マルセル・エニア、セグリーヌ・レルシンスカ、ジャン・ダステ、マックス・ダルバン、ジャン・ジュレ

6 4/4(金)3:00pm 4/13(日)1:00pm 4/22(火)7:00pm

ボヴァリー夫人 (103分・35mm・白黒)

MADAME BOVARY
結婚生活に嫌気が差して、浪費や愛人との戯れに興じる美貌の妻と、それに従うしかない気弱な夫を描くフロベールの原作を、忠実に映画化した作品。ルノワールは、兄のピエールをはじめとする演劇人たちの芝居にいたく感嘆したという。
'33㊦㊩ギュスターヴ・フロベール㊩ジャン・ルノワール㊩ジャン・バシュレ㊩ロベール・ギイ、ウジェーヌ・ルリエ、ジョルジュ・ワケヴィッチ㊩ピエール・ルノワール、アリス・ティッソ、ヴァランティヌ・テシエ、エレナ・マンソン、マックス・デアリー、ダニエル・ルクルトワ、フェルナン・ファブル、レオン・ラリヴ、ピエール・ラルケ

7 4/3(木)7:00pm 4/11(金)3:00pm 4/20(日)4:00pm 4/23(水)3:00pm

どん底 (82分・35mm・白黒)

LES BAS-FONDS
落伍者たちが集まる宿から抜け出したいと願う青年(J・ギャバン)は、忍び込んだ館で自殺しようとしている主人(L・ジュウヴェ)に出逢う…。ルノワール作品に初出演の舞台俳優L・ジュウヴェとミュージック・ホール出身のJ・ギャバンが男の友情を対照的に表現した。
'36㊦㊩マクシム・ゴーリキー㊩エヴゲニー・ザミャーチン、ジャック・コンパネーズ㊩フェードト・ブルガソフ、ジャン・バシュレ㊩ウジェーヌ・ルリエ、ユーグ・ローラン㊩ジャン・ヴィエネル、ロジェ・デゾルミエ㊩ルイ・ジュウヴェ、ジャン・ギャバン、ジュニ・アストール、ロベール・ル・ヴィガン、アンドレ・ガブリエロ、カミーユ・ペール、レオン・ラリヴ、フェルナン・ベルシェ



フレンチ・カンカン

8 4/5(土)1:00pm 4/13(日)4:00pm 4/17(木)7:00pm

大いなる幻影 (113分・35mm・白黒)

LA GRANDE ILLUSION

第一次世界大戦の戦場を舞台に、戦争の虚しさを描いたルノワールの名作。J・ギャバン、E・V・シュトロハイムなど名優が共演している。今回上映するのは、フランス国立映画センター・アルシーブやシネマテーク・ドゥ・トゥールーズが中心になって可燃性オリジナル・ネガから復元したプリントで、本作の魅力を改めて確認できるものとなっている。

'37仏 ④シャルル・スパーク、ジャン・ルノワール ④クリスチャン・トラウウジェーヌ・ルリエ ④ジョゼフ・コスマ ④エリッヒ・フォン・シュトロハイム、ジャン・ギャバン、ピエール・フレネー、マルセル・ダリオ、ジュリアン・カレット、ガストン・モド、ジャン・ダステ、ジャック・ベッケル

9 4/4(金)7:00pm 4/12(土)1:00pm 4/16(水)3:00pm

河 (99分・35mm・カラー)

THE RIVER

R・ゴッデンの小説を原作として、全篇インドで撮影された作品。インドに暮らす英国人一家を軸に、河とともに生きる人々の姿を描いている。本作は、ルノワールにとって初のカラー作品となっている。

'50印 ④米 ④ルーマー・ゴッデン ④ジャン・ルノワール ④クロード・ルノワール ④ウジェーヌ・ルリエ、バンシ・チャンドラ・グプタ ④バトリシア・ウォルターズ、ノラ・スインバーン、エズモンド・ナイト、アーサー・シールズ、トーマス・E・ブリン、ラーダ・シュリラム、スプロヴァム・カージー、エイドリアン・コリ

10 4/5(土)4:00pm 4/8(火)7:00pm 4/16(水)7:00pm

黄金の馬車 (102分・35mm・カラー・英語版)

LE CARROSSE D'OR

18世紀初頭、南米のスペイン植民地。イタリアからやってきた劇団の花形女優(A・マニャーニ)は、みるみるうちに現地の人々を虜にし、一座は脚光を浴びるが…。本作こそルノワールの最高傑作だと絶賛したF・トリュフォーは、題名を自らの会社名に使うほどであった。本作は英語・フランス語・イタリア語の3つのバージョンが製作されたが、今回は英語版を上映する。

'52仏 ④伊 ④プロスペル・メリメ ④ジャン・ルノワール、ジャック・カークランド、レンツォ・アヴェンツォ、ジュリオ・マッキ、ジネット・ドワネル ④クロード・ルノワール ④マリオ・キアーリ ④アンナ・マニャーニ、ダンカン・ラモント、オドアルド・スパダロー、リカルド・リオリ、ポール・キャンベル、ナダ・フィオレリ、ジョージ・ヒギンズ



どん底



恋多き女

11 4/6(日)1:00pm 4/18(金)3:00pm 4/23(水)7:00pm

フレンチ・カンカン (102分・35mm・カラー)

FRENCH CANCAN

モンマルトルの酒場で生き生きと踊る娘(F・アルヌール)に心を動かされた興行師(J・ギャバン)が、かつてのカンカン踊りを復活させようと「ムーラン・ルージュ」を建設する。踊り子たちははじけるような笑顔や華やかなダンスに彩られるルノワールの代表作。

'54仏 ④伊 ④アンドレ・ポール・アントワヌ ④ジャン・ルノワール ④ミシェル・ケルベール ④マックス・ドゥイ ④ジョルジュ・ヴァン・パリシ ④ジャン・ギャバン、マリア・フェリクス、フランソワーズ・アルヌール、ジャン・ロジェ・コシモン、ジャン・エスポジト、フィリップ・クレール、ミシェル・ピコリ、ジャン・パレダス

12 4/6(日)4:00pm 4/11(金)7:00pm 4/15(火)3:00pm

恋多き女 (97分・35mm・カラー)

ELÉNA ET LES HOMMES

金持ち商人の求婚にあっさり応えたかと思えば、その直後には將軍を誘惑、さらには伯爵の気もひくという恋多き未亡人をI・バーグマンが演じる。この美女をめぐるロマンティック・コメディで、ルノワールは様々な権威ある者を諷刺しようとしている。

'56仏 ④ジャン・ルノワール ④ジャン・セルジュ、シー・ハワード ④クロード・ルノワール ④ジャン・アンドレ ④ジョゼフ・コスマ ④イングリッド・バーグマン、ジャン・マレー、メル・ファーラー、ジャン・リシャール、マグリ・ノエル、ジュリエット・グレコ、ピエール・ベルタン、ジャック・ジュノー、ジャン・クロディオ、ジャン・カスターニエ

13 4/8(火)3:00pm 4/12(土)4:00pm 4/17(木)3:00pm

草の上の昼食 (92分・35mm・カラー)

LE DÉJEUNER SUR L'HERBE

教授の婚約を祝う昼食会で、突然巻き起こったつむじ風によって、大騒ぎが始まる。マネの名画《草上の昼食》をヒントに、父ピエール＝オーギュストのアリエが作った南仏レ・コレットで撮影された作品。父が愛した自然を自らもフィルムで描くことができたことに、ルノワールは思いがけない喜びを味わったという。

'59仏 ④ジャン・ルノワール ④ジョルジュ・ルクレール ④マルセル＝レイ＝デュロー ④ジョゼフ・コスマ ④ポール・ムーリス、カトリーヌ・ルヴェル、フェルナン・サルドウ、ジャクリヌ・モラヌ、ジャン＝ピエール・グラヴァル、ロベール・シャンドー、ミシュリーヌ・ギャリ、フレデリック・オブラディ、ギレーヌ・デュモン

小ホール(地下1階)

[京橋映画小劇場]No.10

映画の中の日本文学 Part 1

Japanese Literature in Film Part 1

[Film Screening]

4月18日(金)～5月4日(日) ※上映は金・土・日曜日のみ
定員=小ホール 151名(各回入替制)

発売=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 開映後の入場はできません。
- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発売・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発売は各回1名につき1枚のみです。
- 詳細は当該チラシをご覧ください。

フィルムセンター7階展示室の企画展「映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 1」に関連して、「京橋映画小劇場」第10回企画として、個々の文学作品が各時代の文化状況の中でいかに一本の映画に「翻訳」されたかを、9つの名作を通じてたどります。

展示室(7階)

[企画展]

映画資料でみる

映画の中の日本文学 Part 1

Japanese Literature in Film Part 1
— From the NFC Non-film Collection

フィルムセンターが所蔵する映画ポスター、スチル写真や脚本などを通して、映画がいかに日本のさまざまな文学作品を糧に生み出されてきたかをたどります。このシリーズ第1回では、古代・中世から近世を経由して、明治期・大正期までに主に活躍した作家の原作による映画作品に焦点を当てます。



夏目漱石 吾輩は猫である (1936年、山本嘉次郎監督)

[常設展]

展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

4月4日(金)～7月20日(日)

*月曜日は休室

開室時間=午前11時～午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

大ホール(2階)

発掘された映画たち2008

Cinema: Lost and Found 2008

4月24日(土)～5月15日(土)

5月23日(金)～6月1日(日)

定員=大ホール 310名(各回入替制)

発売=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 開映後の入場はできません。
- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発売・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発売は各回1名につき1枚のみです。
- 詳細は当該チラシをご覧ください。

近年フィルムセンターが収集し、修復・復元を終えた作品を集中的に上映する「発掘された映画たち」は6回目を迎えます。海外アーカイブ機関やコレクターの協力により発見された貴重な作品、デジタル技術を用いて復元された上映プリントなど、映画保存機関ならではの活動の成果を一堂に集めて紹介します。

「ルノワール+ルノワール展」開催記念 ジャン・ルノワール映画の世界
ジャン・ルノワール監督名作選
L'univers cinématographique de Jean Renoir Rétrospective Jean Renoir

月	火	水	木	金	土	日	
31	1 水の娘 3:00pm (70分)	3 マッチ売りの少女 他 (計77分)	5 素晴らしき放浪者 3:00pm (84分)	6 ボヴァリー夫人 3:00pm (103分)	8 大いなる幻影 1:00pm (113分)	11 フレンチ・カンカン 1:00pm (102分)	
	2 女優ナナ 7:00pm (148分)	4 のらくら兵 7:00pm (130分)	7 どん底 7:00pm (82分)	9 河 7:00pm (99分)	10 黄金の馬車 4:00pm (102分)	12 恋多き女 4:00pm (97分)	
7	13 草の上の昼食 3:00pm (92分)	2 女優ナナ 3:00pm (148分)	3 マッチ売りの少女 他 (計77分)	7 どん底 3:00pm (82分)	9 河 1:00pm (99分)	6 ボヴァリー夫人 1:00pm (103分)	
	10 黄金の馬車 7:00pm (102分)	5 素晴らしき放浪者 7:00pm (84分)	1 水の娘 7:00pm (70分)	12 恋多き女 7:00pm (97分)	13 草の上の昼食 4:00pm (92分)	8 大いなる幻影 4:00pm (113分)	
14	12 恋多き女 3:00pm (97分)	9 河 3:00pm (99分)	13 草の上の昼食 3:00pm (92分)	11 フレンチ・カンカン 3:00pm (102分)	5 素晴らしき放浪者 1:00pm (84分)	2 女優ナナ 1:00pm (148分)	
	3 マッチ売りの少女 他 (計77分)	10 黄金の馬車 7:00pm (102分)	8 大いなる幻影 7:00pm (113分)	1 水の娘 7:00pm (70分)	4 のらくら兵 4:00pm (130分)	7 どん底 4:00pm (82分)	
21	4 のらくら兵 3:00pm (130分)	7 どん底 3:00pm (82分)	24 発掘された映画たち2008 4月24日(金)〜5月15日(金) 5月23日(金)〜6月1日(日)				27
	6 ボヴァリー夫人 7:00pm (103分)	11 フレンチ・カンカン 7:00pm (102分)					



■Bunkamura ザ・ミュージアムの関連企画

ルノワール+ルノワール展
画家の父 映画監督の息子 2人の巨匠が日本初共演
supported by 大和証券グループ
Renoir+Renoir exposition organisée avec le Musée d'Orsay

会場: Bunkamura ザ・ミュージアム (渋谷・東急本店横)
2008年2月2日(土)〜5月6日(火)
会期中無休
10:00〜19:00 金・土曜日は21:00まで
4月26日(土)より 9:00〜21:00
(入館は各開館の30分前まで)
主催: Bunkamura、オルセー美術館、日本テレビ放送網、読売新聞東京本社
後援: フランス大使館、シネマテーク・フランセーズ
特別協賛: 大和証券グループ
協賛: 大日本印刷、損保ジャパン
協力: 日本航空、日本通運、JR東日本、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本、J-WAVE、文化放送



ピエール=オーギュスト・ルノワール(田舎のダンス)(部分) 1882-83年 ©Photo RMN/H. Lewandowski/distributed by DNPAC
ジャン・ルノワール「ピクニック」(1936年) Paris, Collection Cinéma française, Fonds Fernis, D.R.

印象派を代表する画家ピエール=オーギュスト・ルノワールと、彼の次男でフランス映画界の重鎮、ジャン・ルノワール。「ルノワール+ルノワール展」は、歴史に名を残した2人の巨匠に焦点を当て、父の絵画約50点と息子の映画約15点の抜粋を同時に紹介します。

- *「ルノワール+ルノワール展」ホームページ: www.ntv.co.jp/renoir/
- *お問い合わせ: 03-6215-4406(自動音声対応)
- *「ジャン・ルノワール監督名作選」チケット半券を展覧会チケット販売窓口にご提示いただくと、当日料金より100円割引いたします(会期中、半券1枚につき1名様1回まで有効。他の割引券との併用はできません)。

■Bunkamura ル・シネマの関連企画

「ルノワール+ルノワール展」開催記念 ジャン・ルノワール映画の世界
ルノワール 父子の系譜
2008年4月以降にレイトショーを開催の予定。
会場: Bunkamura ル・シネマ (渋谷・東急本店横)
主催: Bunkamura ル・シネマ、日本テレビ、読売新聞東京本社
後援: シネマテーク・フランセーズ、フランス外務省、駐日フランス大使館
※詳細はBunkamura ル・シネマのホームページ <http://www.bunkamura.co.jp/cinema/index.html> をご覧ください。

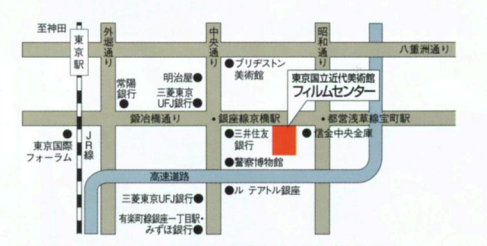
図書室カレンダー 赤字は休室日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

4月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

図書室(4階)
開室=火曜日〜土曜日(午後0時30分〜午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
▼交通:
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ: <http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ: <http://www.momat.go.jp/nfc/k/>